

内科学〈腎・高血圧内科分野〉

担当指導医師

●本院

教授：旭 浩一

准教授：田中 文隆

講師：吉川 和寛

助教：赤坂祐一郎

助教：野田 晴也

助教：佐藤 直幸

助教：菊池 調

基本方針：

腎臓疾患・高血圧性疾患・腎不全患者の診療を、診療スタッフの一員として担当医とともに行う。その中で、病歴聴取法、診察法、病態の把握、検査法、治療法など、医師として必要な知識、態度、思考法を習得するように努める。

実習内容：

1. 病棟診療グループを3週間、透析室診療グループを1週間経験する。
2. それぞれの担当教官とともに日常の回診ならびにディスカッションに参加する。
3. 病棟では2～3人の入院患者を受け持ち、回診カルテ記載、症例プレゼンテーション（入院時、総回診前）、退院時サマリー記載を行う。
4. 透析室では担当教官とともに全ての透析患者を把握し、個別の全身管理を研修する。
5. 腎エコー、腎生検、内分泌負荷検査、バスキュラーアクセス、ペリトネアルアクセス手術に積極的に参加する。
6. 以下の医局行事に参加する。
入院症例カンファランス（毎日）、抄読会（1回/週）、腎病理カンファランス（1回/週）、透析症例多職種カンファレンス（1回/2週）（その他関連する学術講演会や研究会：任意）など。
7. 教授（または准教授/講師）によるセミナー（3回程度）を受講する。
8. 教員とともにポリクリ（下級生）のグループディスカッションと口頭試問に参加し指導する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

なし